

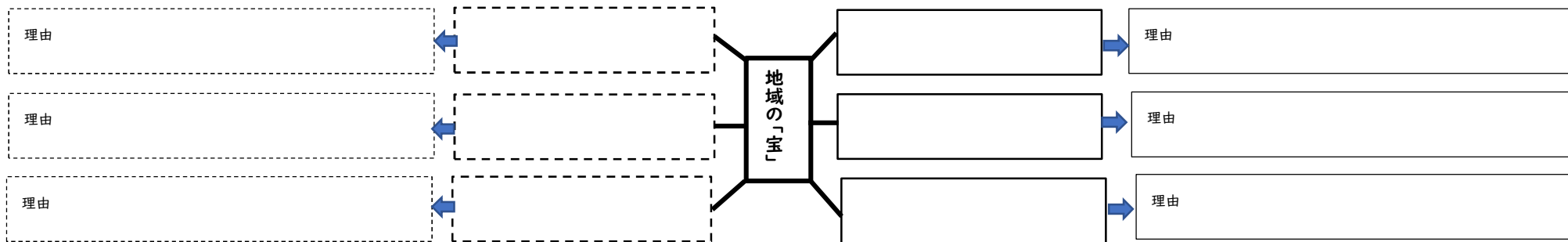
年 番 氏名

この歌詞は、当時の石垣島の中学生在が、自分の育った島への思いを書いた詩や作文をもとに作られました。この歌詞を読んで、後の①～④についてご家族で話し合ってください。

島人ぬ宝 BEGIN

僕が生まれたこの島の空を
僕はどれくらい知ってるんだろう
輝く星も 流れる雲も
名前を聞かれてもわからない
でも誰より 誰よりも知っている
悲しい時も うれしい時も
何度も見上げていたこの空を
教科書に書いてある事だけじゃわからない
い
大切なものがきつとここにあるはずさ
それが島人ぬ宝
僕が生まれたこの島の海を
僕はどれくらい知ってるんだろう
汚れていくサンゴも 減っていく魚も
どうしたらいいのかわからない
でも誰より 誰よりも知っている
砂にまみれて 波にゆられて
少しずつ変わってゆくこの海を
テレビでは映せないラジオでも流せない
大切なものがきつとここにあるはずさ
それが島人ぬ宝
僕が生まれたこの島の唄を
僕はどれくらい知ってるんだろう
トウバラーマも デンサー節も
言葉の意味さえわからない
でも誰より 誰よりも知っている
祝いの夜も 祭りの朝も
どこからか聞こえてくるこの唄を
いつの日かこの島を離れてくその日まで
大切なものをもっと深く知っていたい
それが島人ぬ宝

家族が思う「宝」とそう考える理由



裏に ④振り返り
があります
書いてください

④今回「お家で道徳」〈自分の地域の「宝」って?〉をやってみての振り返りを書いてください。(感想・今日改めて気づいたこと・もっと知りたいことなどを書いてください)

「家族で道徳」の取組、ありがとうございました
8月26日(火)に提出してください